



病院だより 64

美祢市立病院 電子カルテの導入について

美祢市立病院では、本年3月17日より電子カルテシステムを導入しました。電子カルテシステムは、これまで紙で管理してきた患者さんのカルテを電子化し、コンピューターで管理をしていくものです。また、既に導入しているオーダーリングシステム（検査や薬剤の発注、指示などをコンピューターで行うもの。）、画像管理システム（レントゲンなどの画像をコンピューター上で閲覧できるもの。）などの他のシステムと組み合わせることで、次のような効果を得ることができます。

①情報の共有化

医療現場では、診療情報を各部門で共有することにより、各部門でリアルタイムに患者さんの状態を確認することが出来ます。また、検査データや投薬内容も一元管理されるので、各部署からアクセスできるようになり、患者さんへの対応がよりスムーズに行えます。

②安全性の向上

患者さんの投薬内容が一目で確認できるため、複数診療科による重複投与が発見しやすくなります。

また、入院患者さんにはバーコード付きのリストバンドを使用し、頂くことにより、薬剤の確認な

どを素早く正確に行うことができます。

③情報伝達の迅速化

情報が瞬時に各部署に転送されるので、指示を出してから実施までの時間が短縮され、患者さんの待ち時間をより短くすることができます。

④インフォームドコンセントの向上

インフォームドコンセントとは、患者さんに内容を詳細に説明し、同意を頂いた上で、医療を受けて頂くことです。

電子カルテを利用することで、その場で画像を確認したり、検査データをグラフ表示にするなどして、より分かりやすい説明が可能となります。

以上のように、電子カルテシステムは、患者さんから求められている質の高い医療サービスを提供するために必要なツールの一つと言えます。また、医療従事者の間でも情報共有がより容易になり、情報伝達の正確性の向上や効率化によって、安全で迅速な医療を提供することができるようになりました。

本システムも運用開始から半年経過しましたが、導入当初は、不慣れなため操作に時間がかかり、患者さんをお待たせすることもあったかと思っています。引き続き、職員のスキルアップやシステム機能の改善を図り、より良い医療サービスを提供できるよう、今後とも職員一同、日々努力して参りたいと思います。

